



大名の川崎宿止宿と関札 —鍋島肥前守直正宿所関札狼藉一件

江戸時代では大名・旗本や公卿などが宿場で休泊する際、宿場の出入口や休泊する本陣・旅宿の前に標識として宿泊する大名などの名前を記して札を掲げました。それが「関札（宿札）」です。本講座では東海道川崎宿起立400年を記念し、川崎宿の間屋役を勤めた森家に残された古文書をもとに鍋島肥前守直正が川崎宿で休泊した際に起きた事件について読み解きます。

令和5年 10/22 10/29 11/5 (日曜)

- ◆日時：上記全3回（午後2時～午後4時）
- ◆場所：東海道かわさき宿交流館（川崎区本町1丁目8番地4）
JR川崎駅中央東口もしくは北口東より徒歩約10分、京急川崎駅より徒歩約6分
- ◆講師：菊地 悠介氏（川崎市市民ミュージアム学芸員）
- ◆定員：40名（古文書をある程度読解でき、3回とも受講できる方）※定員を超えた場合は抽選（市民優先）
- ◆受講料：2,000円（テキスト代含む）

申込方法・申込期間

- ①往復はがき：
住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記し、下記の申込先まで。
- ②直接：公文書館1階受付にお申し出ください。
（返信用の普通はがきをお持ちください）
- ◆期間：令和5年9月1日（金）～令和5年9月26日（火）（必着）
※抽選結果：令和5年9月28日（木）発送予定

問い合わせ先 川崎市公文書館（月曜・祝日休館）〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

TEL：044（733）3933 FAX：044（733）2400

※画像は「東海道五拾三次 川崎・六郷渡舟」（国立国会図書館デジタルコレクションより加工引用）

